

学士編入の小論文対策はどのように行なってきたのかお伺いしたいです。		
1	学士編入3年生	小論文対策は、看護学部専門小論文対策本を5冊ほど買い、どのような書き方が良いのか、参考になる書き方の例を暗記するを行いました。 また、通信の看護学部社会人入試用の塾に入り、課題の小論文の添削をしてもらいました。
2	学士編入3年生	「書くべきネタが思いつく看護医療系小論文頻出テーマ15」神尾雄一郎 / 箕曲在弘 「石関の今すぐ書ける看護・医療系小論文」石関直子 この2冊に載っている例文を読み、繰り返しノートに書き写し、頭に入れるように勉強していました。 地域包括ケアなど最近の医療の傾向について理解することもコツだと思います。
3	学士編入4年生	まずは、文章を書くことに慣れることを目標に据え「新聞のコラムを読み要約する」ことを繰り返し行いました。 次の段階として、自分の意見を根拠を持って論じることを目標に、要約したコラムに対する自分なりの意見をまとめることに努めました。また、根拠となる情報は日頃から情報収集しなければいけないと感じていたので、受験までの毎日、新聞で取りあげられている時事問題をノートにまとめてネタ帳を作成していました。
4	学士編入3年生	「小論文これだけ!医療看護編」を使って、まずは書き方の大枠を掴んで、小論文の書き方を勉強しました。本によって多少書き方は違うと思いますが、色々な本に手をつけてしまうと書き方がわからなくなってしまうと思ったので、気に入った本や資料を参考にするといいと思います。 練習としては数をこなす事も重要だと思います。上記の本にある例題、聖路加の過去問、私立大学看護学部小論文入試問題解答文例集の例題、ネットから医療系の小論文の例題を使ってひたすら書きました。1日1題は書いて、書いたものを見直したり、友達や家族に問題文を読んでどう思うか違う視点の考えを聞いたりしました。 解答例とその考えを用いて、さらにもう一回書き直すというのを繰り返しました。 必ず書くときは聖路加の小論文解答用紙を使っていました。
4	学士編入3年生	入試の2か月前頃から、主に土日に小論文対策を行いました。 制限時間を決めて書く練習を行い、自分で添削することを繰り返し実施しました。 使用した参考書は「採点者の心をつかむ 合格する看護・医療系の小論文(かんき出版)」、「小論文これだけ 医療・看護編(東洋経済新報社)」です。 高校生向けですが参考になったと思います。 また、聖路加の小論文の過去問(学部生のもの含む)も利用しました。 やる気が出ない日は参考書の回答を丸写ししたりしていましたが、ただ回答を読むよりも書くことで新しい視点も見えてきて、少しは学びに繋がったと思います。 机に向かえない日は空き時間にスマホのニュースやTwitterなどで話題を探してきて、「看護や医療、健康の視点で自分の意見を述べるとしたら何だろう?」と考えるようにしていました。
5	学士編入3年生	書籍は『採点者の心をつかむ 合格する看護医療系の小論文』を参考にしました。 聖路加国際大学を受験しようと思ったのが遅く、試験日まで1か月ほどしか時間がなかったため、参考書で小論文のルールを確認してから、とにかく試験日までは、書くことに専念しました。 具体的には、字数(400字~700字)と時間(25分など)を決めてその中で自分の意見をまとめる練習をしました。 練習用小論文テーマは医療の抱える問題や特有の用語(QOL・インフォームドコンセントなど)に慣れるため、脳死について・超高齢社会について・少子化について等を決めて書きました。 本番では、緊張感もあり不安もありましたが、練習したかいあって、時間内に自分の意見をまとめることができましたと思います。
6	学士編入4年生	①オープンキャンパスの機会を利用したり、看護大学受験の予備校のHPを閲覧して、小論文の過去問を確認して実際の時間制限にあわせて書いてみる。 ②看護学校受験向けの小論文対策の本を買って、小論文の定義や型を学ぶ。 ③医療系の新書や、医療や看護、健康にまつわる新聞記事、看護に関する本を読む。  社会人で隙間時間にしか対策ができなかったため、添削などは依頼せず独学でした。入試前日に小論文を何度も書いていたら腱鞘炎になり、当日が辛かった経験があります。試験前日にバタバタと準備をしないようにすればよかったと思いました。

3年次学士編入で合格された方はどのようなバックグラウンドを持つ方が多いでしょうか。

1	入試事務室	バックグラウンドは様々で、現職または前職が医療系業種の方だけでなく、他業種から看護師を志し本学に入学された方もいます。 また、大学卒業後すぐに本学に入学された方の中で、文系学部出身者も比較的多くいらっしゃいます。 また、入学時の年齢については年度によって異なりますが、平均で30歳前後です。
---	-------	---